



GOOD DESIGN AWARD 2015

7年連続、過去最多4デザイン受賞。

株式会社日本ハウスホールディングスは、公益財団法人 日本デザイン振興会が主催する「2015年度グッドデザイン賞」において、過去最多3部門で4デザインを受賞致しました。今回の受賞で東日本ハウス時代から合わせて7年連続の受賞となります。

これらの受賞は、日本の住環境における基本性能からデザイン、生活提案にいたる広範な分野での弊社の取り組みを評価いただいたものであり、幸甚に存じます。

今後も弛まぬ技術向上とお客様に安心して暮らして行ける住宅づくりを行ってまいります。

□構造体「住み繋ぐ家『やまと』」/「住宅用工法」部門・・・商品名 檜の家「やまと」

□事業創出「中層木造耐火プラットフォーム」/「ビジネスモデル」部門・・・商品名 G-HOUSE34

□住空間「あんみん」/「住宅・住空間」部門

□温熱工法「トリプルレイヤーウィンドウ」/「住宅用工法」部門

グッドデザイン賞受賞展「グッドデザインエキシビション2015(G展)」に出展

本年10月30日(金)から東京ミッドタウンで開催される、最新のグッドデザイン全件が集まる受賞展「グッドデザインエキシビション2015(G展)」会場で、上記4点が本年度受賞デザインとして紹介されます。

[グッドデザインエキシビション2015(G展)]

会期:10月30日(金)～11月4日(火)

会場:東京ミッドタウン(東京都港区六本木)

<http://www.g-mark.org/meeting>

グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで59年にわたり、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、のべ受賞件数は40,000件以上にのぼります。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞で、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>



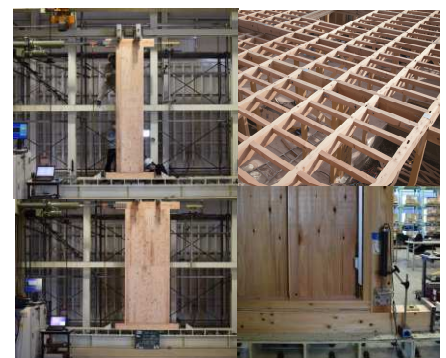
■構造体「住み繋ぐ家『やまと』」／「住宅用工法」部門・・・商品名 檜の家「やまと」

住宅の長寿命化や高性能化は著しくなっています。しかし、多くの住宅は耐久性の限界前にライフサイクルに対応出来ず撤去されます。「やまと」は、100年以上に亘り様々な人々に住み繋がれていくことを前提とした耐震・耐久・維持管理性能を持つ可変性能の高い構造体です。高倍率耐力壁を外壁に配置し内部の耐力壁を最少化すると共に4mグリッド構造で室内柱も最少化しました。梁成は、平面計画の可変性を高める為に均一にしました。高剛性な床組は、釘打ち施工することで吹き抜けや階段室の変更を容易にし、垂直方向の可変性も高めました。将来の家余りの時代には住宅用途ばかりでなくシェアハウスや店舗、グループホーム等の用途にも展開できる、木造三世代スケルトンです。



■事業創出「中層木造耐火プラットフォーム」／「ビジネスモデル」部門 ・・・商品名 G-HOUSE34 (予定)

今後、人口減少や高齢化により利便性の高い市街地への回帰は大都市から中小都市にも広がります。この唯一拡大する市場は高層化と耐火性から鉄とコンクリート構造の独壇場で、木造構造物は立ち遅れています。当構造は木造でありながら市街地建物に求められる60分耐火性能を持ち、自重増となる建物の耐震性能と開口率を両立させる超高倍率耐力壁をはじめ、幅の狭い壁でも高い構造耐力も持つ幅狭耐力壁や、大開口を実現する門型耐力フレームなどからなる構造システムです。施工技術は一般的な木造軸組工法の延長にあり、ゼネコンやプレハブ会社の独壇場である市街地耐火建築で地元工務店が活躍できる場を創り出します。住む人には木の家の快適な暮らしを低価格で提供します。



■住空間「あんみん」／「住宅・住空間」部門

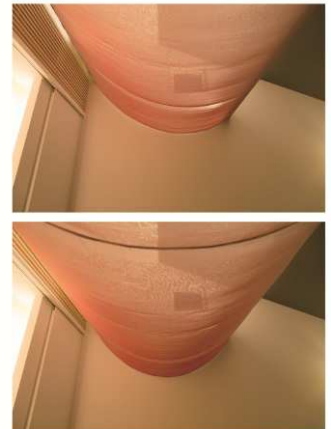
良質で安らかな睡眠＝安眠(an-min)を実現するため、温熱環境から睡眠を考えました。空気温度だけでなく、天蓋(膜面)からの面放射をコントロールすることで、睡眠にふさわしい温熱環境が作られています。睡眠中は必要に応じて窓を開閉することができないだけでなく、人間が最も無防備になります。年間を通して快適な室内環境を実現するには、最小限の機械設備と季節に合わせた建築的工夫が必要になります。本提案では、汎用のエアコンを使いながらも、空間構成、窓の配置、天蓋の構成と素材、仕上げ材などに配慮することで快適な温熱環境を実現しました。また、睡眠空間だけでなく、省エネルギーで快適な温熱環境という点で、その他の空間にも展開出来ます。



快眠のための温熱環境



空間全体で快適な温熱環境をつくる



■温熱工法「トリプルレイヤーウィンドウ」／「住宅用工法」部門

近年欧米並みの3層ガラスサッシが主流ですが、その開閉重量は3.7kgで開閉は容易ではありません。断熱の閉め切る暮らしは高温多湿な気候風土に適しません。外界を謝絶するのではなく、季節に応じ外界の環境を取込み良好な室内環境を作り出すのが本提案です。開閉容易なペアガラス複合サッシと、外部に日射遮蔽と風を取込む格子戸。内部には取外し可能な断熱層を持つ障子の三つのレイヤーで構成されています。これらの組合せで断熱や日射取得性能の最高性能は三層ガラスサッシを超え、開閉パターンを変えることで自然の力を活かした快適な室内環境を創り出すことができます。古来日本の住居が持っている自然と共生した暮らしを取り戻します。



■本件に関するお問い合わせ

株式会社日本ハウスホールディングス
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-3-8
URL: <http://www.nihonhouse-hd.co.jp/>

担当; 広報課 小長谷
TEL: 03-5215-9882 FAX: 03-5213-5671
E-mail: kkonagaya@nihonhouse-hd.co.jp